Panasonic®

■ 増設可能な機種（☞ 14ページ）
■ 増設したドアホン親機によって、利用できない機能があります。（☞ 15ページ）
■ お使いいただくには、充電とドアホン親機への登録（増設）が必要です。（☞ 12、16ページ）

取扱説明書

ワイヤレスモニター子機

品番 VL-W602（ブイ エル ダブリュー）

確認と準備
ドアホン
カメラ
録画・録音
室内通話
こんなとき
お好み設定
必要なとき
困ったとき

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

このたびは、ワイヤレスモニター子機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（3〜5ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■本書では、ワイヤレスモニター子機を「子機」と表記しています。

もくじ

確認と準備

安全上のご注意 3
- 使用上のお願い 6
- 付属品・添付品の確認 8

各部のなまえとはたらき 9

準備
- 充電する 12
  - 充電台を壁(柱)に掛けるとき 13
- 増設可能な機種と利用できない機能 14
- ドアホン親機に登録する(増設) 16
  - 登録を解除するとき(減設) 17

ドアホン

ドアホンを使う
- 呼び出しに応答する 18
- 通話中・モニター中の機能 19
- 通話を転送する 20
- ドアホン側の様子を見る(ドアホンモニター) 21

カメラ

カメラ
- カメラ側の様子を見る(カメラモニター) 22
- 呼び出しに応答する 23

録画・録音

録画・録音する 24
  - 在宅自動録画(録画のみ) 24
  - 手動録画(録画・録音) 25
- 留守設定して録画・録音する 26

再生する 27
  - 留守録画の再生 27
  - すべての録画の再生 28
- 画像を保護または消去する 30
- 録画した画像をテレビ画面に表示する(画像出力) 31

室内通話

ドアホン親機や別の子機と話す
(ドアホン室内通話) 32

こんなとき

通話中・モニター中に別の呼び出しに応答する 33

ドアホン親機に別売の機器を接続しているとき
- 火災警報器や外部センサーを接続しているとき 34
- 電気錠やエアコンなどを接続しているとき 35

お好み設定

音の設定
- 音の大きさを変える(呼出音量/受話音量) 36
- 呼出音を変える 37

機能設定一覧表 38

必要なとき

- お手入れ 43
- 仕様 43

電池パックを交換する 44

困ったとき

困ったとき 45
- こんな表示が出たら 49
- 保証とアフターサービス 50
- Quick Reference Guide 52
- さくいん 54
- 別売品 ......裏表紙

- 本書で記載しているドアホン親機のイラスト・操作・ディスプレイ表示は、VL-MW150K のものです。増設するドアホン親機によって、子機またはドアホン親機の操作やディスプレイ表示が異なる場合があります。
  ドアホン親機の取扱説明書とあわせてよくお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

電池パックについて

■分解・改造しない

分解禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■指定の電池パック以外は使用しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■付属の電池パックを、この機器以外に使用しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■専用の充電台と AC アダプターを使用して指定の電池パックを充電する

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■火の中に捨てたり加熱しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■⊕⊖ 端子を金属などに接触させない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■液もれしたとき、“液”に触れたり目に入れない

禁止

目に入ると、失明の原因になります。

●目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

■ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

■分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

●修理は販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときはACアダプターを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●使用を中止し、販売店へご相談ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

火災・感電の原因になります。

●ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■ACアダプター・コードを破損するようなことはしない

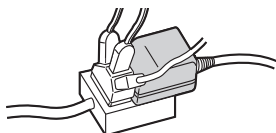
（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●修理は販売店へご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■医用電気機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■雷が鳴ったらACアダプター・コードに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

⚠ 警告

■AC アダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだ AC アダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

■AC アダプターのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 注意

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

■スピーカーに耳を近づけて使用しない

禁止

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

使用上のお願い

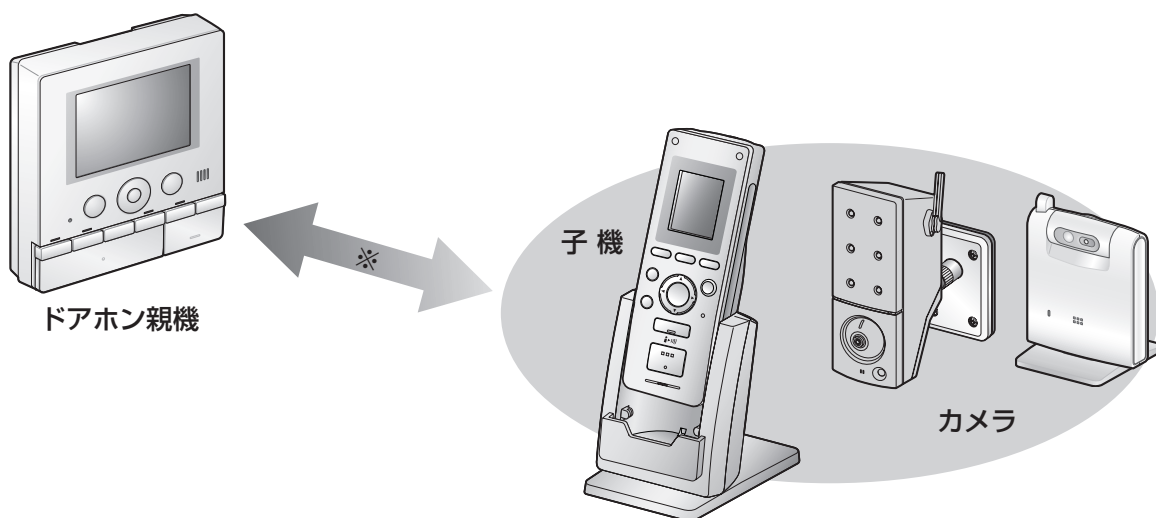
こんなところには設置しない

- **火気・熱器具の近く**（変形や故障の原因）
- **テレビ・電子レンジ・パソコンの近く**（電波干渉による誤動作の原因）
- **直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く**
  （43ページの「使用環境条件」の範囲外は誤動作・変形・故障の原因）
- **温度変化が激しいところ**（結露による誤動作の原因）

お願い

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときは、しばらく放置してから接続、使用してください。

- 本機は、子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては子機で通話中に雑音が入る場合があります。

気になるときは、ドアホン親機をお使いください。

※ 見通し約100 m以内（何も障害物がない場合）の距離で設置してください。

ドアホン親機・子機・カメラは、上記の範囲内に置いて使う

- 距離が離れていたり、次のような障害物などがあると、電波が弱くなり、通話の途切れ（プツプツ音や声の途切れ）、映像の乱れや更新の遅れが起きて、使えないことがあります。このとき子機では、電波表示が圏外になります。（☞ 11ページ）
  - 金属製のドアや雨戸
  - アルミはく入りの断熱材が入った壁
  - コンクリートやトタン製の壁
  - 壁を何枚もへだてたところ
  - ドアホン親機・子機・カメラをそれぞれ別の階や家屋などで使うとき

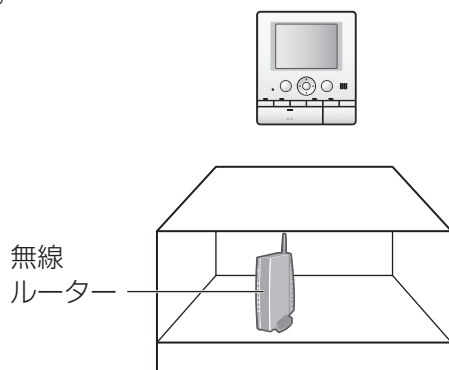
電波を使う機器から離す

電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはドアホン親機・子機・カメラとも約3 m以上離してください。

- **電子レンジ**
- **無線LAN機器(ルーター・AV機器・防犯機器など)**
- **ワイヤレスAV機器(テレビ・ステレオ・パソコンなど)**

その他、下記の機器も影響が出る場合があります。

- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- デジタルコードレス電話機/ファクス
- その他、Bluetooth® 対応機器やVICS(道路交通情報通信システム)など

（例：無線ルーターの設置）
離して置けないときは、上下に置くと影響を軽減できることがあります。

電波について

- **本機は、2.4～2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です**

移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

- **本機の使用周波数に関わるご注意**

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ドアホン親機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター(☞ 50ページ)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(☞ 50ページ)へお問い合わせください。

使用上のお願い（つづき）

その他

● 分解・改造することは法律で禁じられています。
（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）

本機を廃棄・譲渡・返却するとき

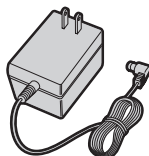
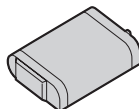
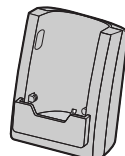
● 呼出音などの機能設定を、お買い上げ時の設定に戻したい場合は
➔ 39ページ「設定の初期化」をしてください。

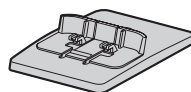
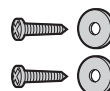
付属品・添付品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付 属 品

□ ACアダプター
（長さ約1.8 m）
……………………1個

□ 充電台
……………………1台

□ 電池カバー
……………………1個

□ 充電台スタンド
……………………1個

□ 電池パック
……………………1個

□ 充電台壁掛け用
木ねじ・ワッシャー
………………各2個

添 付 品

☑ 取扱説明書（本書）
……………………1冊

□ 保証書
……………………1式

各部のなまえとはたらき

外部機器 ●電気錠など、接続した外部機器を操作する（☞ 35ページ）

室内呼 ●ドアホン親機や別の子機を呼び出す（☞ 20、32ページ）

機能／明るさ ●明るさ変更や逆光補正をする（☞ 19ページ）
●機能設定をする（☞ 38〜42ページ）

液晶ディスプレイ（☞ 10ページ）

再生 ●録画した画像を再生する（☞ 28ページ）

モニター ●ドアホンやカメラ側の様子を見る（☞ 21、22ページ）

ボイスチェンジ ●自分の声を低く変える（☞ 19ページ）

充電ランプ
●充電中：点灯、充電完了：消灯

終了ボタン
●通話などの操作を終わる
●ディスプレイが消えているときに押すと、待ち受け画面を表示する（☞ 10ページ）

送話ランプ
●こちらの声が相手に聞こえているとき点灯する

マルチファンクションキー
●操作ガイド（☞ 10ページ）で表示された操作をする
●音量を変更する（☞ 36ページ）
●項目の選択や決定などに使う

本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

（**上**または**下**を押す）

（**左**または**右**を押す）

（**決定**を押す）

マイク

通話ランプ（▫▫▫）
●ドアホンやドアホン親機、別の子機からの着信中は点滅、通話中は点灯する

通話ボタン
●通話する（☞ 18ページ）

充電台

充電端子（金属部分）

充電台スタンド

スピーカー
●呼出音が鳴ったり、通話中に相手の声が聞こえる

アンテナ部（内蔵）
●使用中、手でおおわないでください（電波の状態が悪くなります）

電池カバー
●電池パックを交換するときに開ける

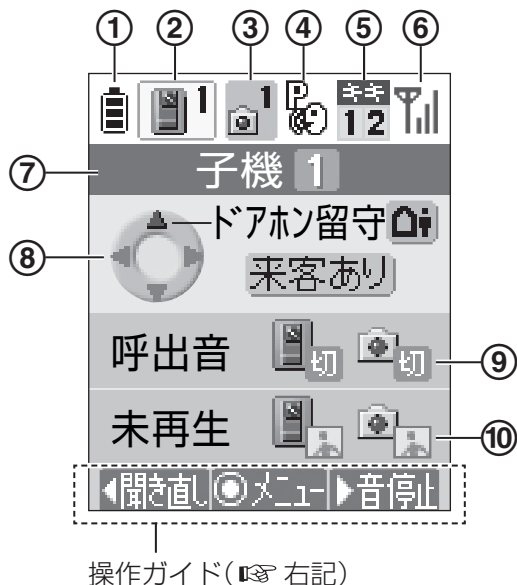
充電端子（金属部分）

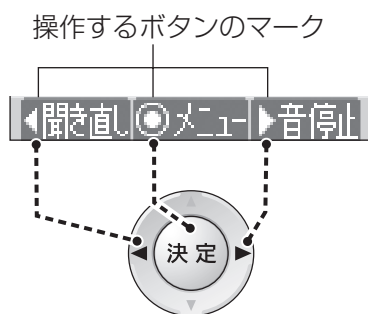
各部のなまえとはたらき(つづき)

液晶ディスプレイ(モニター画面)の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

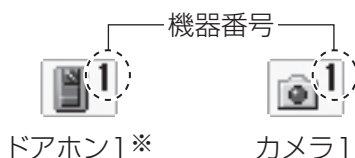
- **⑤、⑧の表示は、ご使用のドアホン親機によって異なります。(☞ 右ページ)**
- ディスプレイが消えているときに 終了 を押すと表示します。

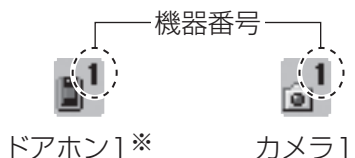
〈待ち受け画面〉

操作ガイドについて

有効な操作と操作するボタンのマークを、画面下にガイドとして表示します。
- 表示は一例で、操作する場面ごとに変わります。

① 電池残量のめやすを表示する

使用中	● 4秒ごとに「ピッピッ」と警告音が鳴り、約60秒後に通話が切れる (点滅)
待ち受け時	●「充電してください」と表示する(充電しないと使えません)

② 着信中、通話中、モニター中の機器のマークを表示する
- 画像再生中は、撮影した機器のマーク

ドアホン1※　　カメラ1

③ 通話中やモニター中に、呼び出してきた機器のマークを表示する

ドアホン1※　　カメラ1

※ ドアホン親機がVL-MW100Kの場合、接続できるドアホンが1台のため、機器番号の表示はありません。

④ プレストーク通話中に表示する（☞ 19ページ）

⑤ 電気錠やエアコンなどの機器を接続し、ドアホン親機に登録してご使用の場合、各機器の状態を表示する（☞ 35ページ）

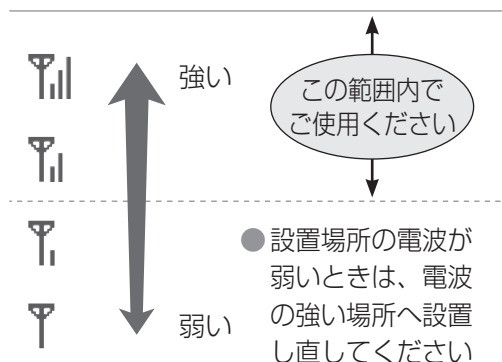
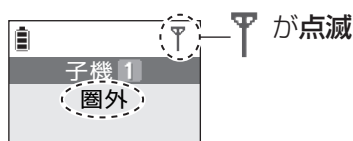
ドアホン親機がVL-MW150K/VL-MW130Kの場合

機器番号（登録した番号のみ表示）

- **施錠またはONのとき** 1—緑
- **解錠またはOFFのとき** 1—黒

上記以外のドアホン親機の場合

施錠またはONのとき表示する

⑥ 電波の状態を表示する

- ドアホン親機から電波が届かず、使用できないときは下記の表示になります（ドアホン親機に近づけてください）

⑦ 子機 1 ご使用の子機の番号を表示する

⑧ ドアホンの留守設定について表示する

ドアホン親機がVL-MW150K/VL-MW130Kの場合

▲—ドアホン留守

留守設定をするとき

 を押す（☞ 26ページ）

 留守設定中のとき（☞ 26ページ）

来客あり 新しい留守録画があったとき（☞ 27ページ）

上記以外のドアホン親機の場合

- この表示は出ません

⑨ ドアホンからの呼出音量を「切」に設定中に表示する

 カメラからの呼出音量を「切」に設定中に表示する

⑩ ドアホンの未再生画像があるときに表示する

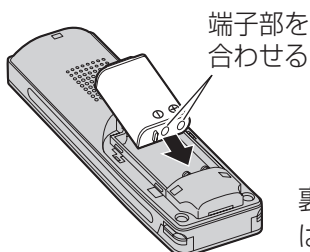
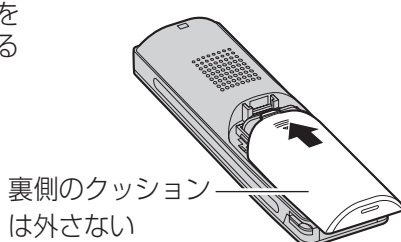
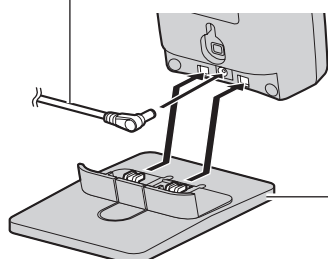
 カメラの未再生画像があるときに表示する

モニター画面の映像表示について

- ドアホンやカメラからの映像は、約3秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません）

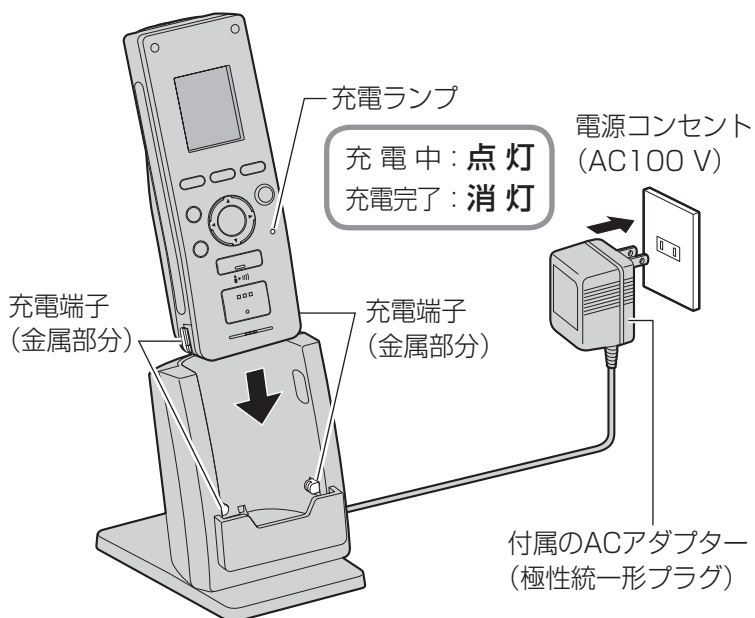
充電する

子機を使うには、充電が必要です。

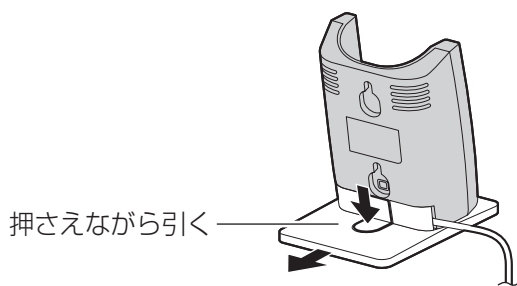
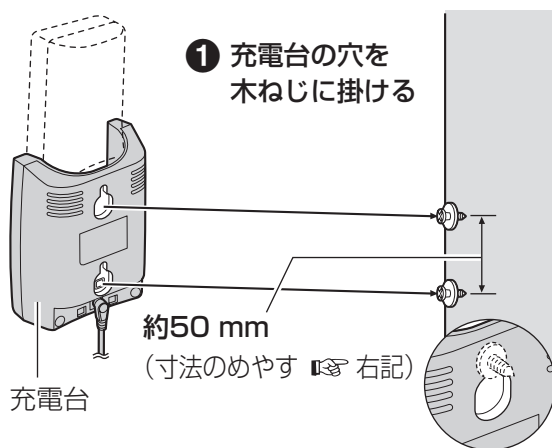
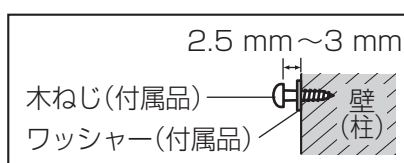
● 充電後にドアホン親機に増設(☞ 16ページ)してください。
(すぐに増設したい場合でも、約30分間の充電が必要です)

1 電池パックを入れる

2 充電台を組み立て、ACアダプターをつなぐ

3 子機を置き、充電する

➔約7時間で充電が完了し、充電ランプが消灯する

● 途中で子機を使用したりすると、充電時間が長くなります
● 充電台は、子機の電波表示が「圏外」にならない場所に設置してください(圏外の場所では、充電時間が長くなります)
● 子機は充電台に置いたままでも過充電しないようになっています

お願い

● 充電端子が汚れたときはふいてください。(☞ 43ページ)
● 1週間以上、子機を充電台から外したり、ACアダプターを抜くときは、電池パックを外してください。
(電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため) ➔ 次に使うときは充電してください。

充電台スタンドの取り外しかた

充電台を壁(柱)に掛けるとき

1 付属の木ねじ・ワッシャーを壁(柱)に取り付け、充電台を引っ掛けて固定する

- 充電台スタンドは不要です

⚠ 注意

壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

- 石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

増設可能な機種と利用できない機能

増設可能な機種

■ 増設可能なテレビドアホン(2006年11月現在)

増設できる機種は追加になることがあります。

品番： VL-SW100K / VL-SW100MK　(ドアホン親機 VL-MW100K)
VL-SW102K / VL-SW102AK　(ドアホン親機 VL-MW102K)
VL-SW104K / VL-SV104K　(ドアホン親機 VL-MW104K)
VL-SW105K　(ドアホン親機 VL-MW104K)
VL-SW150K　(ドアホン親機 VL-MW150K)
VL-SW130K　(ドアホン親機 VL-MW130K)
VL-SV130K※　(ドアホン親機 VL-MW130K)

※2006年12月発売予定

利用できない機能

■ 増設したドアホン親機によって、利用できない機能があります

ドアホン親機の品番 / 機能と参照先	VL-MW100K	VL-MW102K	VL-MW104K	VL-MW130K VL-MW150K
録音 （☞ 25ページ）	×	×	×	○
留守設定（留守録画） （☞ 26ページ）	×	×	×	○
音声の停止／再生 （☞ 28ページ）	×	×	×	○
音声の聞き直し （☞ 28ページ）	×	×	×	○
画像出力 （☞ 31ページ）	○	×	×	×
ドアホンの逆光補正※ （☞ 19ページ）	×	×	×	○
火災警報器・外部センサーの接続 （☞ 34ページ）	×	×	×	○

※ VL-V565以外のドアホンには、この機能はありません。

ドアホン親機に登録する （増設）

子機を使うには、お使いのドアホン親機への登録（増設）が必要です。

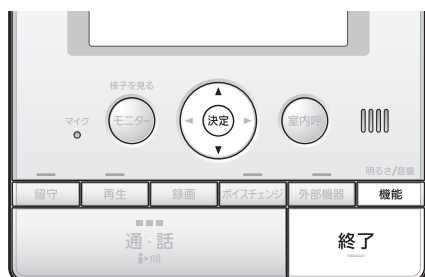
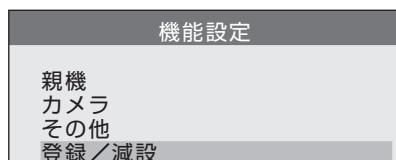
ドアホン親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

- ドアホン親機の操作はVL-MW150Kの例です。
- VL-MW130Kの場合も、下記の操作で登録ができます。
- その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

ドアホン親機の操作

（VL-MW150K）

1 を押し、 で［登録／減設］を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録／減設

2 を押し、 で［登録］を選ぶ

3 を押し、 で［子機］を選ぶ

4 を押し、 で増設する子機番号を選ぶ

5 を押す

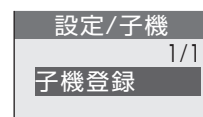
続けて、約2分以内に子機を操作する

増設する子機の操作

6 機能 を押す

設定/子機
1/1
子機登録

7 を押す

登録完了

8 終わったら、
ドアホン親機の 終了 を押す

お知らせ

- 減設した子機を、再度登録するときの子機の操作

機能 を押す ➔※ で［子機登録］を選ぶ ➔ を押す ➔ を押す

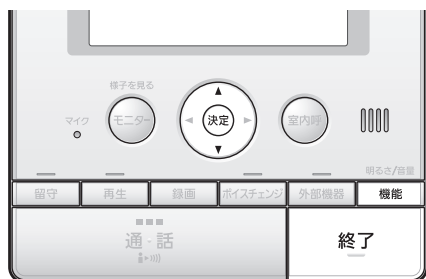
※ドアホン親機がVL-MW100Kの場合
・ で［子機］を選んで を押す

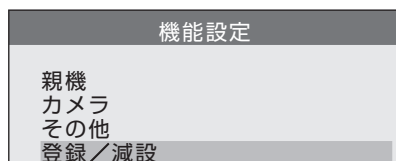
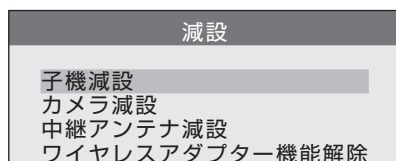
子機を使わなくなったときは、子機の登録を解除してください。

登録を解除するとき（減設）

- 下記の操作はVL-MW150Kの例です。
- VL-MW130Kの場合も、下記の操作で減設ができます。
- その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

1 機能 を押し、 で
[登録／減設]を選ぶ

機能設定
親機
カメラ
その他
登録／減設

2 を押し、 で[減設]を選ぶ

登録／減設
登録
減設

3 を押し、 で[子機減設]を選ぶ

4 を押し、 で減設する
子機番号を選ぶ
（例：子機2を減設）

5 を押す

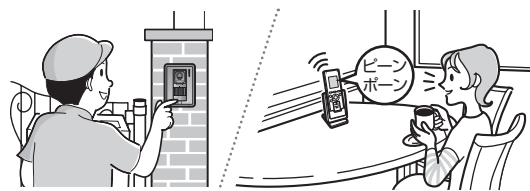
6 終わったら、
終了 **を押す**

お願い

- **誤動作防止のため、減設後は子機から電池パックを外してください。**

お知らせ

- ドアホン親機がVL-MW100Kの場合、減設は子機で行います。
  下記の手順で操作してください。
  ① 機能 を押し、 ボイスチェンジ を3回押す
  ② で[減設]を選び、 を押す
  ③ で[子機減設]を選び、 を押す
  ④ で減設する子機番号を選ぶ
  ⑤ を押す
  ⑥ 終わったら、 終了 を押す

呼び出しに応答する

1 ドアホンから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、相手の映像が映る

- 映像は静止画で、約3秒ごとに更新しながら表示される

2 応答する(相手と話す)には

通話 を押す

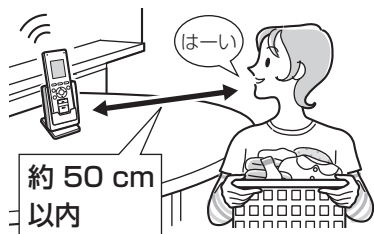
約50 cm以内で
相手と交互に話す
- 同時に話すと声が途切れる

3 終わったら、

終了 を押す

ボタンを押さずに声で応答する(音声応答)

「音声応答」の設定を「ON」(☞ 38ページ)にすると、声で応答できます。

① 呼出音が鳴ったら、声で応答する(相手には聞こえない)

- 「ピッ」と鳴ったら、話ができる
- 周囲の音にも反応するため、ドアホン親機の近くに置くと、お互いの呼出音で音声応答することがあります
- ドアホン親機や別の子機からの呼び出し(室内呼)にも音声応答できます

お知らせ

- 呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。
  ➔ 通話 を押すと、相手につながり再び話ができます。
- 着信時の映像が自動で録画されます。(☞ 24ページ)
- 呼出音の音量や種類は、変更できます。(☞ 36、37ページ)
- **通話中に別の呼び出しがあったとき(☞ 33ページ)**
- 電子レンジや無線LAN機器などが動作すると、その電波の影響を受け、映像が乱れることがあります。(☞ 45ページ「困ったとき」)

通話中・モニター中の機能

●ご使用のドアホン親機によっては、逆光補正はできません。（☞ 15ページ）

映像を左右に移動する	を押すと左に移動　 を押すと右に移動 ●画面に入りきれない部分の映像を確認できる
画面の明るさを変える	機能 明るさ を押す ➔ で[明るさ]を選ぶ ➔ を押す ➔ で変更する ●VL-V565以外のドアホン映像や、カメラ映像の場合また、VL-MW150K/VL-MW130K以外のドアホン親機をご使用の場合、この操作は不要
受話音の大きさを変える	音量 を押して**大きく**　音量 を押して**小さく**
ドアホンの逆光補正をする	機能 明るさ を押す ➔ で[逆光補正]を選ぶ ➔ を押す ➔ で[ON]にする ●VL-V565以外のドアホンには、この機能はありません
録画(録音)する	を押す　●詳しくは（☞ 25ページ）
自分の声を低く変える （ボイスチェンジ） ●通話中のみ	ボイスチェンジ を押す（ボタンが点灯） ●再度押すと消灯し、元の声に戻る ●声の高さは、設定により変更できる（☞ 39ページ）
送話と受話を切り替えて話す （プレストーク通話） ●自分や相手の周囲が騒がしく通話しにくいときに	「ピッ」と鳴るまで 通話 を約２秒間押す（画面に 🅿 と表示） ■話すとき（送話） 通話 **を押したまま話す** ■聞くとき（受話） 通話 **から指を離す**

お知らせ

●逆光補正以外の機能は、カメラとの通話中・モニター中にも使えます。
●受話音量の変更やプレストーク通話は、ドアホン室内通話中にも使えます。
（ただし、ドアホン通話転送中の室内通話では、プレストーク通話はできません）
●ボイスチェンジやプレストーク通話は、通話終了後に解除されます。

通話を転送する

ドアホン親機、またはドアホン機能が使える別の子機へドアホン通話を転送できます。

● 下記の「受ける側」の子機の操作は、VL-W602の例です。VL-W602以外の子機の操作は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

転送する側

受ける側

1 ドアホン通話中に、 **を押す**

● ドアホンの映像が消え、通話ランプが点滅

「プー」音に続けて、呼びかけが聞こえる

プー

2 **相手に呼びかける**

■ **ドアホン親機で受けるとき**

［通 話］を押して話す

■ **別の子機で受けるとき**

［通話］を押して話す

3 相手が出たら、**通話を転送することを伝える**

4 **［終了］を押す**

● 転送先との通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる

ドアホンの映像が映ったら、**ドアホン側の相手と話す**

● 終わったら、

➔〈ドアホン親機〉［終了］を押す

➔〈別の子機〉［終了］を押す

お知らせ

● **子機が2台以上あるときは、手順1の操作ですべての子機とドアホン親機が一斉に呼び出されます。**
38ページの「室内呼」の設定を「一斉/個別」に変えておくと、下記の手順で個別に呼び出して転送できます。

① ドアホン通話中に を押し、 で転送先を選ぶ

② ［決定］を押し、呼びかける

➔ 指定した相手にだけ呼びかけが聞こえる

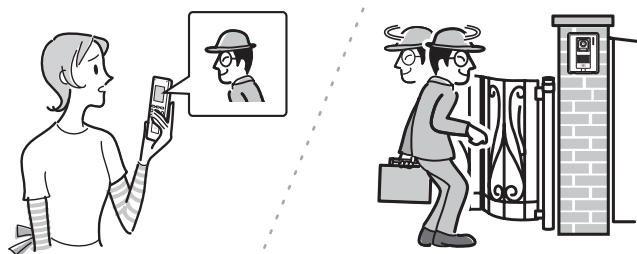
③ 相手が出たら、通話を転送することを伝え、［終了］を押す

➔ 転送先の相手がドアホンと通話できる

（例）

● 転送先の相手が出ないときなど、ドアホンとの通話に戻るには ➔ ［通話］を押す

● 転送先の相手と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。

ドアホン側の様子を見る（ドアホンモニター）

1 モニター を押す

■ドアホンが2台あるとき

モニター を押すごとに映像が切り替わる

■カメラを増設しているとき

① 続けて （◇） でモニターしたいドアホンを選ぶ

機器選択
ドアホン1
ドアホン2
カメラ1

② （決定） を押す

- 映像が映り、周囲の音が聞こえる（こちらの声はドアホン側には聞こえません）
- ドアホン側の相手と話すには 通話 を押す

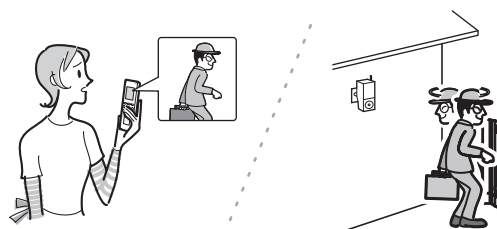
2 終わったら、終了 を押す

■モニター中の機能

（☞ 19ページ）

お知らせ

- モニターは約90秒で自動的に終了します。
- **モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 33ページ）**

カメラ側の様子を見る （カメラモニター）

■モニター中の機能
（☞ 19ページ）

1 モニター を押し、（◇）でモニターしたいカメラを選ぶ

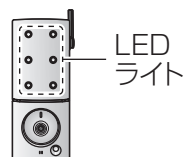
機器選択
ドアホン1
ドアホン2
カメラ1
カメラ2

2 （決定）を押す

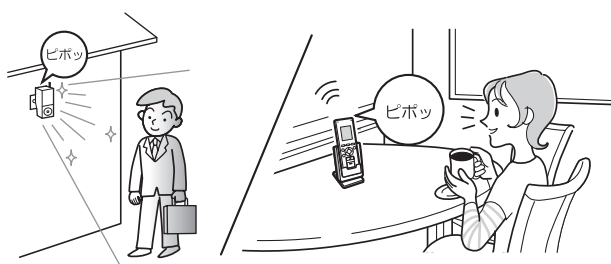
- 映像が映り、周囲の音が聞こえる
  （こちらの声はカメラ側には聞こえません）
- カメラ側に話しかけるには
  通話 を押す

3 終わったら、
終了 を押す

屋外用のカメラ（VL-W810K/VL-W811K）をご使用の場合

- **カメラのLEDライトは、センサー検知時などの威嚇用です。**
  カメラ側の設定により、上記手順2や右ページ手順1でライトが点灯※しますが、照明用の光量はありません。
  ※ モニターや通話を終了すると、約30秒後に消灯します。

- **下記のような場合、人の顔が識別しにくくなります。**
  - 昼間など明るいときでも、カメラから約2 m以上離れたとき
    ただし、撮影時の被写体の場所（日陰・逆光・撮影角度など）によっては、2 m以内でも映りが悪くなったり、人の顔が識別しにくくなります。
  - 夕方や夜間など、周りが暗いとき（画質が低下します）
  - 動いている人を撮影するとき（画像がぶれるため、顔の識別が難しくなります）

呼び出しに応答する

人感センサーが反応すると、呼出音と映像でお知らせします。応答すると、カメラ側の音を聞くことができます。

1 センサーが反応すると

呼出音が鳴り、カメラの映像が映る

2 応答する（カメラ側の音を聞く）には

モニター を押す

- こちらの声はカメラ側には聞こえません
- カメラ側に話しかけるには
  通話 を押す

3 終わったら、

終了 を押す

■モニター中の機能
（☞ 19ページ）

お知らせ

- センサー反応時の呼び出しは約30秒、モニターや通話は約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。
- センサー反応時の映像は、自動で録画されます。（☞ 24ページ）
- 呼出音の種類や音量は、変更できます。（☞ 36、37ページ）
- センサー反応時にカメラ側だけ動作させ、子機には着信させない(呼出音も映像表示もしない)ような設定もできます。
  （ドアホン親機の「鳴り分け」設定 ☞ ドアホン親機の取扱説明書）
- **モニター中・通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 33ページ）**

録画・録音する

子機でも録画・録音ができます。（画像や音声は、すべてドアホン親機に記録されます）

- **ご使用のドアホン親機によっては、録音はできません。（☞ 15ページ）**
- 録画機能の詳細は、ドアホン親機の取扱説明書をお読みください。

在宅自動録画（録画のみ）

留守設定していないときに着信した映像を、自動で録画します。（録音はされません）

呼び出しに応答しなかったときは
未再生画像として録画され、

や　でお知らせします

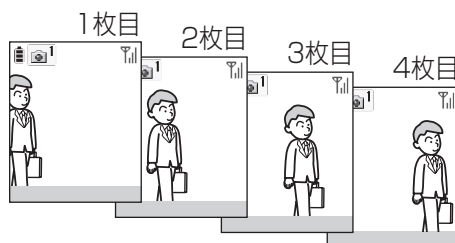
1

ドアホンやカメラから呼び出しがあると

自動録画する

■ ドアホン：下記の1枚を録画

（呼び出しから約2秒後の映像）

■ カメラ：下記の4枚を録画

- カメラの映像表示について、詳しくは（☞ ドアホン親機の取扱説明書）

お知らせ

- 呼び出しに応答したときは、再生済みの画像として録画されます。
- 通話中・モニター中に呼び出してきたドアホンやカメラの映像は、呼び出しに応答しないと録画されません。
- ドアホンの録画枚数は「4枚」に変更できます。
  （ドアホン親機の「ドアホン録画数」設定 ☞ ドアホン親機の取扱説明書）
  - 4枚録画のときは1枚目を録画後、約3秒おきに2〜4枚目を録画します。
- 「1枚録画」「4枚録画」ともに、録画件数は1件になります。
- ドアホンやカメラの映像を4枚録画中に、別の機器から呼び出しがあると、4枚録画できないことがあります。（最低1枚は録画されます）
- 在宅自動録画をやめるには：ドアホン ➔ ドアホン親機の「ドアホン自動録画」の設定を「OFF」にする
  （☞ ドアホン親機の取扱説明書）
  ：カメラ ➔ カメラの「センサー種別」の設定を「自動録画OFF」にする
  （☞ ドアホン親機の取扱説明書）

手 動 録 画（録画・録音）

着信中、通話中、モニター中の映像を、必要に応じて録画できます。
ドアホン通話中・モニター中は、同時に録音もされます。（録音時間は固定：約20秒間）

1 映像表示中に

（録画）を押す

（録音中の例）

● 録音が終わると、「録音中」が消える

録画・録音する

お知らせ

● 決定（録画）を押してから録画されるまで時間差が生じます。
このため 決定（録画）を押したときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

● 手動録画の場合は、再生済みの画像として録画されます。（再生するには ☞ 28ページ）

● **次の場合は、録音できません。（画像のみを録画）**
- ドアホン着信中、または表示中の相手がカメラのとき
- 未再生の留守録画と保護設定した画像（☞ 30ページ）のうち、音声付き画像が合計25件あるとき（ドアホン親機の留守ランプが速く点滅する）
  ➔ 未再生の留守録画を再生すると、録音できるようになります。（☞ 27ページ）

● ドアホン通話中・モニター中の手動録画で、録音をしないようにすることもできます。
（ドアホン親機の「録画ボタン」設定 ☞ ドアホン親機の取扱説明書）

● 録音中に別の機器から呼び出しがあったとき
- 呼び出しに応答すると、録音が中止されます。

留守設定して録画・録音する

子機の操作で、ドアホン親機の留守設定や留守解除ができます。

- **ご使用のドアホン親機によっては、留守設定(留守録画)はできません。(☞ 15ページ)**
- 留守録画の詳細は、ドアホン親機の取扱説明書をお読みください。

お出かけ前に、留守設定する

1 **を押す**

2 **で[留守設定]を選び、**

 を押す

- 「ピー」と鳴り、留守設定される

帰ってきたら、留守解除する

1 **上記の手順1を行い、** **で[留守再生/解除]を選ぶ**

ドアホン留守
留守設定
留守再生/解除

2 **を押す**

- **新しい留守録画があるとき**
  - ➔ 右の表示が出る

    留守録画を
    再生します

    [決定]を押す

  (☞ 右ページ手順3へ)

- 「ピー」と鳴り、留守設定が解除される

お知らせ

- 留守応答中でも、通話を押して ドアホンの相手と通話できます。
  - 録音は途中で止まりますが、録画した画像は、1件の再生済み留守録画(音声付き)として記録されます。

再生する

ドアホン親機に録画された画像(音声を含む)を、子機で再生できます。

留守録画の再生

下記の表示があるときは、新しい留守録画があります。(ドアホン親機の留守ランプが点滅)
を押して再生してください。すべての留守録画を再生すると表示が消え、留守設定が解除されます。(ドアホン親機の留守ランプも消灯)

■再生中はこんなことができます
(☞ 28ページ)

1 を押す

2 で[留守再生/解除]を選び、

決定 を押す

3 決定 を押し、画像を再生する

- 画像が複数あるときは、 を押すごとに、日時の古い画像から順番に再生される
  - 音声付き画像は、音声も同時に再生される
  - 再生画面の見かた(☞ 29ページ)
- すべての留守録画を再生すると、留守設定が解除される

お知らせ

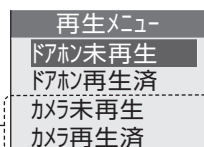
- **画面に や が表示されているとき**
  留守録画のほかに、未再生の画像(在宅自動録画)があります。
  - 再生するには(☞ 28ページの手順1へ)
- 手順1で 再生 を押しても、留守録画を再生できます。(表示に従って再生してください)
  この場合、留守設定は解除されません。
- 一度再生した留守録画は、ドアホンやカメラの再生済み画像として記録されます。
  (あとからもう一度再生するには ☞ 28ページの手順1へ)

再生する（つづき）

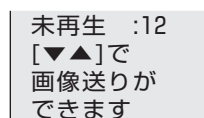
すべての録画の再生

在宅または留守中に録画されたすべての画像を再生できます。

1 再生 **を押す**

カメラ増設時のみ表示

● 画像がない項目はグレーの文字で表示され、選べません

2 **で再生する項目を選び、**

決定 **を押す**

3 決定 **を押し、画像を再生する**

● 画像が複数あるときは、 を押すごとに、日時の新しい画像から順番に再生される

・ を押し続けると、早送り／早戻しになる

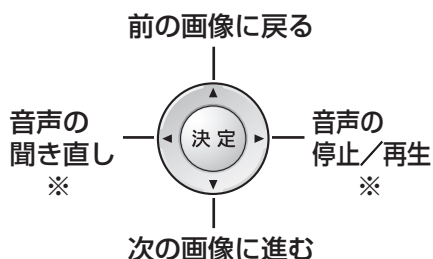
● 再生画面の見かた（☞ 右ページ）

4 終わったら、 終了 **を押す**

お知らせ

● **新しい留守録画があるとき（来客あり）**

再生 を押すと、留守録画の再生画面になります。

再生中はこんなことができます

※ 音声付き画像の場合のみ

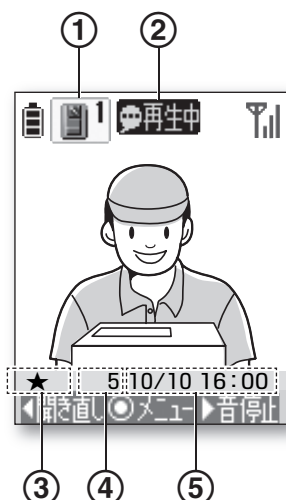
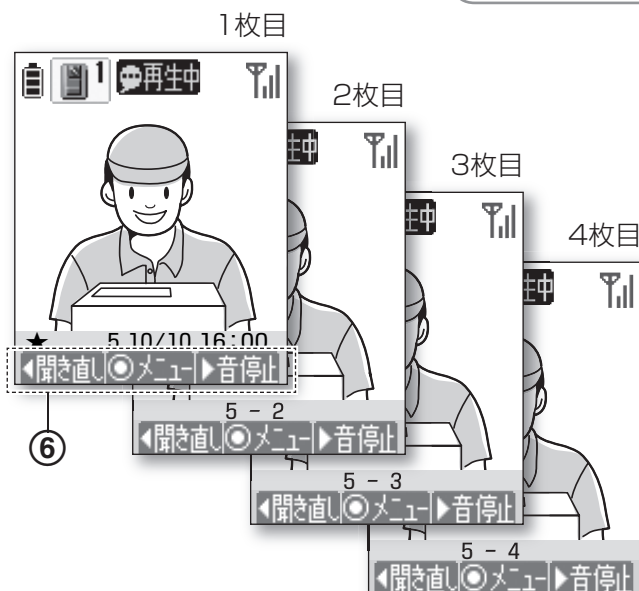
■明るさの変更

機能 明るさ を押す ➔ で変更

■保護設定や画像消去

決定 を押す（詳しくは ☞ 30ページ）

● 再生中の音量変更はできません。ドアホン通話中に受話音の大きさを変える（☞ 19ページ）と、再生音量も変わります。

再生画面の見かた

1枚録画の画像(ドアホン)	4枚録画の画像(ドアホン※またはカメラ)
	※「ドアホン録画数」の設定が「4枚」のとき（☞ ドアホン親機の取扱説明書）

① 撮影した機器のマーク（☞ 10ページ）

② 音声の再生状態(音声付き画像のみ)

再生中：音声再生中

停止中：音声停止中

③ 画像の状態

★ ：未再生画像

🔑 ：保護画像（☞ 30ページ）

④ 録画番号(1～100)

⑤ 録画日時

あらかじめ、日付・時刻設定が必要です（☞ ドアホン親機の取扱説明書）

⑥ 操作ガイド(☞ 10ページ)

お知らせ

- **4枚録画中に別の機器から着信があり、4枚録画できなかったとき**
  - ➔「4枚で1セット」の画像再生で、（▼）を押したときに「録画中断あり　次の画像です」と表示し、次の画像を表示します。
- 39ページの「録画日時表示」の設定を「3秒表示」にすると、上記画面の ③ ～ ⑤ を1画像あたり約3秒間だけ表示させたあと、自動で消すことができます。

再生する

画像を保護または消去する

ドアホン親機に録画された画像（音声を含む）で、消したくないものは保護、不要なものは消去できます。（保護は最大20件まで）

1 画像再生中に

決定（メニュー）を押し、▲▼で

[画像を保護]または
[画像を消去]を選ぶ

画像メニュー
画像を保護
画像を消去

保護画像のときは「保護を解除」と表示される

2

[画像を保護]を選んだとき

決定 **を押す**

●「O-π」と表示される

[画像を消去]を選んだとき

① 決定 **を押し、**▲▼**で[はい]を選ぶ**

消去しますか
はい
いいえ

② 決定 **を押す**

●消去が終わると、次の画像が表示される

3 終わったら、

終了 **を押す**

■保護を解除するとき

① 保護画像を再生中に

決定（メニュー）を押し、

で[保護を解除]を選ぶ

② 決定 を押す

●「O-π」の表示が消える

お知らせ

●**「保護画像がいっぱいです　これ以上保護できません」と表示されたとき**

➔すでに20件保護設定されています。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

●**「連続画像です　消去しますか」と表示されたとき**

➔「4枚で1セット」の画像です。消去すると、4枚とも消えます。

●**すべての画像を一度に消去するには**

➔ドアホン親機で「画像全消去」をしてください。（☞ ドアホン親機の取扱説明書）

録画した画像を テレビ画面に表示する (画像出力)

ドアホン親機がVL-MW100Kの場合、下記の操作でドアホン親機に録画された画像をテレビ画面に表示できます。

● 画像出力の詳細は、ドアホン親機の取扱説明書をお読みください。

1

を押す

2 で[画像出力]を選ぶ

カメラ未再生
カメラ
画像出力

3 を押し、

 でテレビに表示したい画像の項目を選ぶ

画像出力
ドアホン
カメラ

4 を押す

画像出力中
★ 5 10/10 16:00

● テレビ画面に画像が表示される

● 画像が複数あるときは、◇を押すごとに、日時の新しい画像から順番に再生される

・ ◇を押し続けると、早送り／早戻しになる

5 終わったら、

を押す

お知らせ

● 画像出力中は、画像の保護設定／保護解除や消去はできません。

● 未再生画像をテレビ画面に表示しても、再生済みにはなりません。

ドアホン親機や別の子機と話す（ドアホン室内通話）

ドアホン親機、またはドアホン機能が使える別の子機と通話ができます。

● 下記の「受ける側」の子機の操作は、VL-W602の例です。VL-W602以外の子機の操作は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

呼 び 出 す 側

受 け る 側

1 室内呼 ◯ **を押す**

● 通話ランプが点灯

2 **相手に呼びかける**

■ **ドアホン親機で受けるとき**

［通 話］ **を押して話す**

■ **別の子機で受けるとき**

［通話］ **を押して話す**

3 相手が出たら、
話す

4 終わったら、［終了］ **を押す**

お知らせ

● 通話は約90秒で自動的に終了します。

● **子機が2台以上あるときは、手順1ですべての子機とドアホン親機が一斉に呼び出されます。**
38ページの「室内呼」の設定を「一斉/個別」に変えておくと、下記の手順で個別に呼び出すことができます。

① 室内呼 ◯ を押し、◇ で呼び出す相手を選ぶ

② ㊙決定 を押し、呼びかける

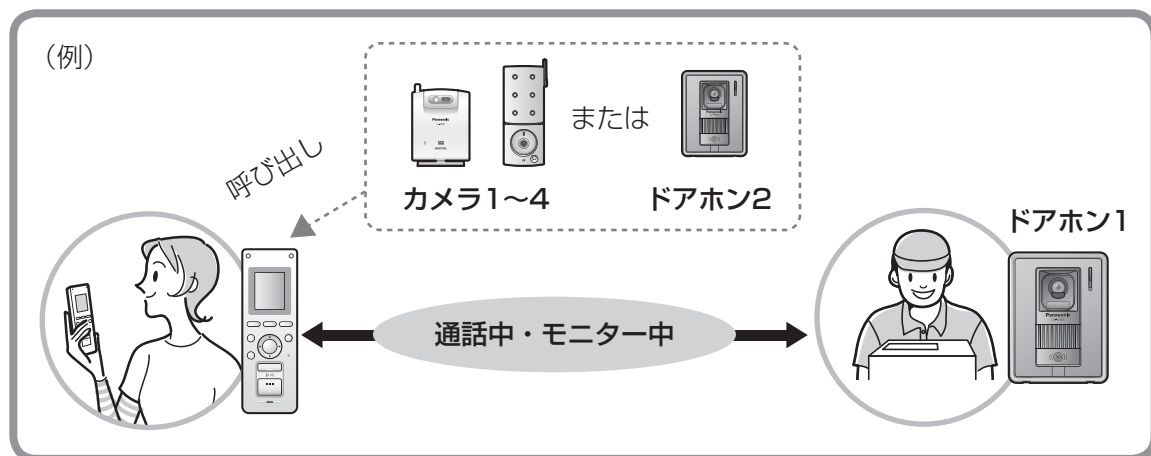
➔ 指定した相手にだけ呼びかけが聞こえる

③ 相手が出たら、話す

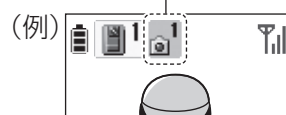
（例）

● **通話中に別の呼び出しがあったとき**（☞ 33ページ）

通話中・モニター中に 別の呼び出しに応答する

別の機器からの呼び出しは、通話中･モニター中に呼出音や画面表示などで通知されます。
通話中・モニター中の機器にのみ通知されるので、下記の操作で応答してください。

1 ドアホン(カメラ)通話中・モニター中、
またはドアホン室内通話中に、
別のドアホンやカメラから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、[モニター] が点滅する

● 画面には、呼び出してきた機器のマークを表示
（☞ 10ページ）

(例)
2 呼び出しに応答するには

[モニター] を押す

● 元の通話やモニターは終了する
● 呼び出してきたドアホンやカメラの映像が表示され、周囲の音が聞こえる
（こちらの声は相手に聞こえません）
● 相手と話すには
[通話] を押す

3 終わったら、

[終了] を押す

火災警報器や外部センサーを接続しているとき

ドアホン親機に接続した機器が反応すると、子機にも下記のように通知されます。

● **ご使用のドアホン親機によっては、火災警報器や外部センサーは接続できません。**（☞ 15ページ）

火災警報器や外部センサーが反応したとき

1

待ち受け中に反応すると、

通知音と画面表示で約3分間お知らせする

● 通知音はスピーカーから最大音量（固定）で鳴り、約3分後に自動的に終了して画面も消える

火災警報器の場合

通知音：「ピロピロピロピロン」

火災警報器が
反応しました

外部センサーの場合

通知音：「プルルルプルルル」

外部ｾﾝｻｰが
反応しました

■ **通知音と画面表示をすぐに終了したいとき**（鳴り始めから約５秒間はできない）

［終了］を約3秒間押す

● ドアホン親機とすべての子機の通知音と画面表示が消える

お願い

● 火災警報器や外部センサーの点検時は、子機の動作も確認してください。

お知らせ

● ドアホンやカメラとの通話中や、ドアホン室内通話中に、接続した機器が反応すると、通話が切れて上記の通知音が鳴ります。
● 下記の場合、子機からは通知音が鳴らない（画面表示もしない）ことがあります。
  • ドアホン親機から離れすぎていたり、間に障害物などがある場合（☞ 6ページ）
  • 子機の電池が切れている場合

電気錠やエアコンなどを接続しているとき

ドアホン親機に接続した機器を、子機の外部機器ボタンで操作できます。

●操作する機器は、あらかじめドアホン親機での登録操作が必要です。
詳しくは（☞ ドアホン親機の取扱説明書）

●**ご使用のドアホン親機によって、操作が異なります。**

外部機器を操作する

ドアホン親機がVL-MW150K/VL-MW130Kの場合

1 施錠／解錠（またはON/OFF）したいときに
外部機器 **を押す**

■外部機器が2台あるとき
① 続けて で機器を選ぶ

選択して
ください
外部機器1
外部機器2

② 決定 を押す

（例：施錠するとき）

2 で［はい］を選び、
決定 **を押す**

（例）

●**外部機器1を施錠またはONにしたとき**

●**外部機器1を解錠またはOFFにしたとき**

左記以外のドアホン親機の場合

1 施錠／解錠（またはON/OFF）したいときに
外部機器 **を押す**

（例：施錠するとき）

施錠しますか
はい
いいえ

2 で［はい］を選び、
決定 **を押す**

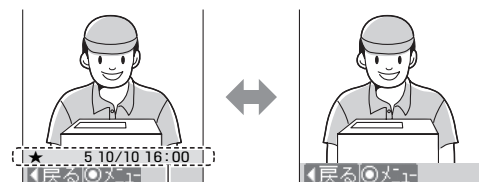
施錠またはONにしたとき表示

（例）

「文字表示」を登録しているとき

録画再生時に、画面の録画日時欄を表示させたり、消したりできます。

1 画像再生中に
外部機器 **を押す**

●押すごとに、画面が下記のように変わります

お知らせ

●39ページの「録画日時表示」の設定を「3秒表示」にしていると、約3秒間だけ表示されたあと、消えます。

音の大きさを変える 呼出音量／受話音量

音量の種類		変えられるとき	変えられる範囲
呼出音量	ドアホン カメラ 室内呼	●それぞれの着信中 ●待ち受け中(機能設定で変更)	• ドアホン ：3段階 ＋「切」 • カメラ ：3段階 ＋「切」 • 室内呼 ：3段階
受話音量		●通話中・モニター中	3段階

呼出音量／受話音量を変える

1 着信中、通話中・モニター中に

 で音量を変更する

（例：ドアホン着信中のとき）

音量 を押して **大きく**

音量 を押して **小さく**

■ ドアホンやカメラの呼出音量を「切」(鳴らさない)にするには

「ピピッピピッ」と鳴るまで

 を押し続ける

➔ を押すと解除

待ち受け中に呼出音量を変える

ドアホン、カメラ、室内呼の呼出音量は下記の操作でも変更できます。

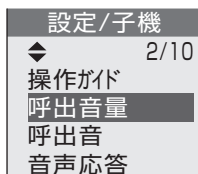
● ドアホン親機がVL-MW100Kの場合、操作が一部異なります。

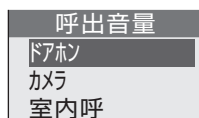
1 機能 **を押す**

■VL-MW100Kの場合

① 続けて で［子機］を選ぶ

② 決定 を押す

2 **で［呼出音量］を選ぶ**

3 決定 **を押し、** **で**

音量を変えたい項目を選ぶ

4 決定 **を押し、** **で音量を選ぶ**

●選んだ音量で呼出音が鳴る

•「切」は「ピピッ ピピッ」と鳴る

5 決定 **を押す**

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、 終了 **を押す**

呼出音を変える

ドアホンやカメラからの呼出音を変更できます。

- 室内呼の呼出音は変えられません。
- ドアホン親機がVL-MW100Kの場合、操作が一部異なります。

1

■VL-MW100Kの場合

① 続けて で[子機]を選ぶ

② 決定 を押す

2

3 決定 を押し、 で呼出音を変えたい機器を選ぶ

4

- 選んだ音が流れる
- 「繰り返し」を選んだ場合も、ここで鳴るのは1回のみ

5 決定 を押す

- 「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6

■ 呼出音の種類

お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」、ドアホン2「音2」、カメラ1～4「音A」

ドアホンからの呼出音		カメラからの呼出音	
音1	ピーンポーン	音A	ピポッ
音1繰り返し	ピーンポーン※	音B	ポポポポポポ…
音2	プルルルルルル…	音C	ポーンポーン
音2繰り返し	プルルルルルル…※	音D	ピーンポーン
音3	ピンポーンピンポーン		
音3繰り返し	ピンポーンピンポーン※		

※ ドアホン着信中、約5秒間隔で、それぞれの音を繰り返します。
ただし、「ドアホン側で鳴る音」「通話中に鳴る呼出音」は繰り返しません。

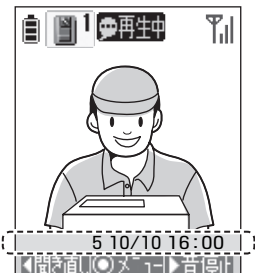
機能設定一覧表

使いかたに合わせて、子機の機能を変更できます。

- 機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。
- ドアホン親機がVL-MW100Kの場合、操作が一部異なります。

［　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
操作ガイド	●子機の操作ガイドを表示する
呼出音量	ドアホン　：［大］、中、小、切 カメラ　　：［大］、中、小、切 室内呼　　：［大］、中、小 ●子機で鳴る呼出音の音量を選ぶ（設定は ☞ 36ページ）
呼出音	ドアホン1　：［音1］、音1 繰り返し、音2、音2 繰り返し 音3、音3 繰り返し ドアホン2※：音1、音1 繰り返し、［音2］、音2 繰り返し 音3、音3 繰り返し カメラ1～4：［音A］、音B、音C、音D（カメラ1～4で個別に設定できる） ●子機で鳴る呼出音の種類を選ぶ（設定は ☞ 37ページ） ※ ドアホン親機がVL-MW100Kの場合、表示されません。
音声応答	ON、［OFF］ ●「ON」にすると、ドアホン・ドアホン親機・別の子機からの呼び出しに、［通話］を押さずに「はーい」などの音声で応答できる（☞ 18ページ） • 音声応答設定時も、［通話］を押して応答できます • カメラの呼び出しには音声応答できません
室内呼	［一斉］、一斉/個別 ●「一斉/個別」を選ぶと、ドアホン親機や別の子機を個別に呼び出すことができる

- 一覧表に（設定は ☞ ○○ページ）とあるものは、参照先の手順に従ってください。

□ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
ボイスチェンジ	通常、 低め ●「低め」を選ぶと、ボイスチェンジの声がさらに低くなる
録画日時表示	常時、 3秒表示（画像1件につき、3秒間だけ表示） ●「3秒表示」を選ぶと、録画再生時に画像に重なって表示される録画日時欄が約3秒後に自動で消える （表示直後） 5 10/10 16:00 ◀聞き直し ◉メニュー ▶音停止 （表示してから約3秒後） ◀聞き直し ◉メニュー ▶音停止
コントラスト	●子機のモニター画面の表示が見えにくいとき、コントラスト（表示濃度）を5段階で調整する お買い上げ時の設定→
子機登録	●子機をドアホン親機に登録（増設）する（設定は ☞ 16ページ）
設定の初期化	はい、いいえ ●子機を廃棄・譲渡・返却するときなどに、子機の設定をお買い上げの状態に戻す

→ を押し、 で設定内容を選ぶ → を押す → 終わったら、終了 を押す

●機能によっては、この操作を繰り返す

機能設定一覧表(つづき)

ドアホン親機が VL-MW100K の場合、カメラ・ドアホン親機・その他の機能を変更できます。各機能の詳細は(☞ ドアホン親機の取扱説明書)

カメラの機能

● **38ページの「設定を変更するとき」の手順に従って操作してください。**
[　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
カメラ出力音	[音 A]、音B、音C、音D ●センサーが反応したときに、カメラから出る音の種類を選ぶ ・音A、C、Dは：37ページ「カメラからの呼出音」の音A、C、Dと同じ ・音Bは：VL-W800のとき「ポポポポポポ…」 ：VL-W810K/VL-W811Kのとき「ピーポーピーポーピーポー…」
カメラ出力音量	大、[中]、小、切 ●センサーが反応したときに、カメラから出る音の大きさを選ぶ
センサー種別	[人感/60秒 自動録画ON]、人感/60秒 自動録画OFF、 人感/20秒 自動録画ON、人感/20秒 自動録画OFF、 外部入力/60秒 自動録画ON、外部入力/60秒 自動録画OFF、 外部入力/20秒 自動録画ON、外部入力/20秒 自動録画OFF、 外部入力/常時 自動録画OFF、OFF(センサー反応しない) ●センサー反応の種別(人感/外部入力)と次のセンサー反応までの時間(60秒/20秒/常時)、センサー反応時の自動録画の有無(ON/OFF)を選ぶ ・カメラの人感センサーを使わず、カメラ側に別のセンサーなどを接続して使うときは、「外部入力」を選ぶ (接続できる機器については、カメラの説明書をお読みください)
人感センサー感度	[標準]、低 ●センサーが反応しすぎるときは「低」を選ぶ ・正面方向の検知距離は、「標準」で約5 m、「低」で約2 mになる (人感センサーについては、カメラの説明書をお読みください)
カメラマイク感度	■VL-W800 のとき 大、[中]、小、切 ■VL-W810K/VL-W811K のとき [大]、中、小、切 ●モニター中・通話中に子機に聞こえる、カメラ側の音の大きさを選ぶ ・「切」を選ぶと、カメラ側の音は聞こえない
カメラ受話音量	[大]、中、小 ●通話中にカメラ側に聞こえる、子機からの音声の大きさを選ぶ
ランプ表示	[常時]、通信時、消灯 ●カメラのランプを常に点灯させるときは「常時」、モニターや通話時のみ点灯させるときは「通信時」、消灯させておくときは「消灯」を選ぶ
ズーム	[標準]、拡大(約 1.6 倍) ●撮影対象が小さくて見えにくいときは、「拡大」を選ぶ

カメラの機能（つづき）

●38ページの「設定を変更するとき」の手順に従って操作してください。
［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

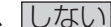
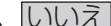
機能名	設定内容と概要
露出補正	(映像が暗くなる)－3、－2、－1、［0(標準)］、＋1、＋2、＋3(映像が明るくなる) (被写体が映りにくくなる)　(映像が白っぽくなったり、ぶれやすくなる) ●適切な明るさが得られないときに調整する ・設定した露出補正は VL-W800のとき：カメラ周辺の明るさに関係なくはたらく VL-W810K/VL-W811Kのとき：カメラ周辺が暗いときだけはたらく
上下反転表示	する、［しない］ ●「する」を選ぶと、カメラからの映像が上下反転する(VL-W800のみ) ・VL-W810K/VL-W811Kのとき、この設定は機能しません
設定の初期化	はい、［いいえ］ ●カメラの設定をすべて、お買い上げ時の状態(初期値)に戻す

ドアホン親機の機能

●38ページの「設定を変更するとき」の手順に従って操作してください。
［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
音声応答	ON、［OFF］ ●「ON」にすると、ドアホンや子機からの呼び出しに、［通話］を押さずに「はーい」などの音声で応答できる ・音声応答設定時も、［通話］を押して応答できます ・カメラの呼び出しには応答できません

その他の機能

●38ページの「設定を変更するとき」の手順に従って操作してください。
［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
日時	●現在の日付・時刻を設定する
呼出音	ドアホン　：［音1］、音2、音3 カメラ1～4　：［音A］、音B、音C、音D(カメラ1～4で個別に設定できる) ●ドアホン親機で鳴る呼出音の種類を選ぶ

機能設定一覧表(つづき)

その他の機能(つづき)

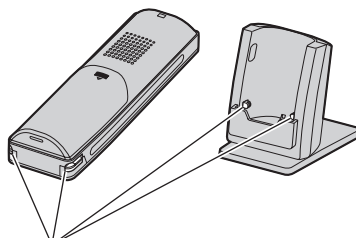
● 38ページの「設定を変更するとき」の手順に従って操作してください。
□ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
鳴り分け	鳴る、鳴らない 〈ドアホン、カメラ 1 〜 4 を個別に設定〉 ● 着信させたくないドアホンやカメラは「鳴らない」を選ぶ
A 接点	ON、OFF 〈ドアホン、カメラ 1 〜 4 を個別に設定〉 ● ドアホン親機の A 接点端子に接続した機器(回転灯など)は、設定を「ON」にしたドアホンやカメラの呼び出しに連動する
ドアホン接続	あり、なし ● ドアホンを使わなくなったときは「なし」を選ぶ
F ボタン	なし、電気錠、機器、文字表示 ● 子機の 外部機器 で操作する機能を選ぶ
ドアホン自動録画	ON、OFF ● 在宅自動録画(☞ 24 ページ)をやめるときは、「OFF」を選ぶ
録画枚数振分	する、しない ● 「する」を選ぶと、録画可能な枚数(最大 100 枚)を、ドアホン画像用(最大 30 枚)とカメラ画像用(最大 70 枚)に分けることができる
ドアホン録画数	1 枚、4 枚 ● ドアホン録画 1 件あたりの画像枚数を選ぶ
録画開始時間	標準(約 2 秒)、遅い(約 3 秒) ● ドアホンの自動録画で、夜間などの映像が映りにくいとき「遅い」を選ぶ
中継アンテナ	● 中継する機器を変更したいとき、登録している機器(子機 1 〜 4、カメラ 1 〜 4)の中から選ぶ 〈中継アンテナ増設時のみ、中継アンテナ 1 〜 2 を個別に設定〉
画像全消去	はい、いいえ ● 録画した画像をすべて消去する ・保護設定している画像も消去する
設定の初期化	はい、いいえ ● 「親機」と「その他」の機能設定の内容を、お買い上げ時の設定に戻す ・録画画像は消去されない ・画像の保護設定は解除されない ・「中継アンテナ」の設定は初期化されない

お手入れ

お手入れするときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

柔らかい布で、からぶきする

● 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってふいてください。

充電端子は月に一度、乾いた布でふく

（充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります）

お願い

● アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因になります）

仕様

■ワイヤレスモニター子機

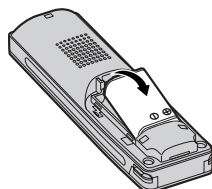
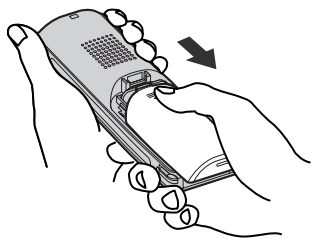
電　源	専用ニッケル水素蓄電池 （専用ニッケル水素電池） （品番：KX-FAN51） （DC 3.6 V）（650 mAh）
外形寸法（mm） （高さ×幅×奥行）	157 × 52 × 35
質　量	約175 g（電池パック含む）
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	1.8型STN カラー液晶ディスプレイ
外観材質	ABS樹脂
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
使用時間※	連続使用時間：約2.5時間 待受時間：約200時間
充電時間	約7時間
使用可能距離	約100 m/見通し距離

※ 約7時間充電した状態で、使用環境温度が20 ℃のとき

■充電台

電　源	ACアダプター （品番：PFAP1013） AC100 V（50 Hz/60 Hz） （DC 8.5 V）（270 mA）
消費電力	待ち受け時：約1.2 W 充電時　　：約2.9 W
外形寸法（mm） （高さ×幅×奥行）	充電台スタンド使用時： 115 × 76 × 90 充電台スタンド未使用時： 105 × 76 × 48
質　量	約115 g （充電台スタンド含む）
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下
外観材質	ABS樹脂

電池パックを交換する

電池パックは消耗品です。
約7時間充電しても通話数分後に電池残量表示（▯）が点滅したら、新しい電池パックと交換してください。

1 電池カバーを開ける

2 古い電池パックを外す

3 新しい電池パックを入れて約7時間充電する

（☞ 12ページ）

- 別売品「KX-FAN51」をお使いください。（☞ 裏表紙）
  ➔仕様：ニッケル水素蓄電池、DC 3.6 V、650 mAh

Ni-MH

- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
  - 製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
  - （社）電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

（社）電池工業会ホームページ　　http://www.baj.or.jp/

- **リサイクル時のお願い**
  - 電池パックはショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。
  - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - 電池パックを分解しないでください。

困ったとき

●参照先がドアホン親機の取扱説明書の場合は、ページ欄に「ドアホン」と表記しています。

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
モニター画面	**ドアホンの映像が白黒っぽく映る**	●夜間など、ドアホンの周囲が暗いと白黒映像になります。(故障ではありません)	–
	ドアホンの映像で人の顔が暗く映る	●ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 **〈VL-V565の場合〉** ➔ 映像表示中に、機能/明るさ で逆光補正※をしてください。 ※ご使用のドアホン親機によっては、できません。(☞ 15ページ) **〈VL-V565以外の場合〉** ➔ 逆光にならない位置に、設置してください。	19 –
	映像がはっきりしない・焦点が合わない	●ドアホンのパネル(レンズカバー)や、カメラのレンズが汚れていませんか? ➔ 柔らかい乾いた布でふいてください。 ●ドアホンのパネル(レンズカバー)が結露していませんか? ➔ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。	– –
	映像全体が白っぽい、または黒っぽい	●明るさの設定は適切ですか? ➔ 映像表示中に、機能/明るさ で明るさを調節してください。	19
	ドアホンの映像が白っぽい、または縦線が入る	●ドアホンのカメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。(故障ではありません)	–
	画面全体がちらつく	●ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか? ➔ 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと(フリッカー現象)があります。(故障ではありません)	–
	ドアホンやカメラの映像が乱れる、または映像の更新が遅い(約5秒以上かかる)	●子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか? ➔ アンテナ部から手を離してください。 ●子機やカメラがドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか? ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機やカメラを移動させてください。 ●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか? ➔ 子機をドアホン親機に近づけてください。または、これらの機器から離してご使用ください。	9 6 7

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
モニター画面	録画再生で、録画日時が「--/-- --:--」となっている	●日付・時刻が設定されていません。 ➔ ドアホン親機で、日付・時刻を設定してください。	ドアホン
	夜間に録画されたドアホン画像が暗い	●夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 ➔ ドアホン親機で、「録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。	ドアホン
	画面が真っ暗	●待ち受け中は、画面が消えます。 ➔ [終了] を押すと、待ち受け画面を表示します。	10
		●子機の電池が切れていませんか？ ➔ 充電してください。	12
通話（ドアホン・カメラ・室内通話）	通話が途切れる または、ほとんど聞こえない	●自分の周り、または通話相手の周りで、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか？ ➔ 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。	19
		●子機背面のアンテナ部（内蔵）を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。	9
		●子機やカメラが、ドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機やカメラを移動させてください。	6
		●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ 子機やカメラをドアホン親機に近づけてください。または、これらの機器から離してご使用ください。	7

	こんなとき(症状など)	原 因 と 対 応	ページ
通話(ドアホン・カメラ・室内通話)	雑音(ハウリング)が聞こえて通話できない	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。 ➔ 少し離れた場所で通話してください。	–
	相手に、こちらの声がまったく聞こえない(こちらには相手の音声が聞こえる)	●プレストーク通話になっていませんか？（ を表示) ➔ プレストーク通話では、通話 を押している間だけ、相手にこちらの声が聞こえます。	19
	音声応答がうまくいかない	●応答の声が小さかったり、「はーい」などの声を長く(約１秒以上)伸ばしすぎると、うまく応答できません。 ➔「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。	18
モニター(ドアホン・カメラ)	指定したモニター先につながらず、「着信中の○○○を表示します」と出て、別の機器の映像が表示される	●ドアホン親機の「鳴り分け」設定で、「鳴らない」に設定した機器から着信中のため、着信中の映像が表示されます。 ➔ モニター先を切り替えるには、モニター を押してください。	ドアホン 21 22
呼出音	ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らない	●呼出音が「切」になっていませんか？ ➔ 呼出音「切」を解除してください。	36
		●子機の電池が切れていませんか？ ➔ 充電してください。	12
		●上記以外で、ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らないとき • ドアホン親機の「鳴り分け」設定をしていませんか？ ➔ ドアホン親機で、「鳴り分け」設定を確認してください。	ドアホン

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
充電	🔋が点滅し、「ピッピッ」と鳴る	●電池がなくなりかけています。 ➔ すぐに充電してください	12
充電	充電台に置いても充電ランプが点灯しない	●ACアダプターがコンセントまたは充電台から外れていませんか？ ➔ ACアダプターをコンセントまたは充電台にしっかり差し込んでください。	12
		●充電台に正しく置いていますか？ ➔ 正しく置いてください。 （「ピッ」と鳴り、充電ランプが赤点灯する）	12
		●充電端子が汚れていませんか？ ➔ 乾いた布でふいてください。	43
		●電池パックが新品、または電池が切れていませんか？ ➔ 数分間、充電台に置いたままにしてください。	12
充電	約７時間充電しても、充電ランプが消灯しない	●ドアホン親機の電源が入っていないときや、子機に「圏外」と表示されているときは、充電時間が長くなります。 ➔ ドアホン親機の電源が入っていることを確認し、子機の「圏外」表示が消えるまでドアホン親機に近づけて充電してください。	12
充電	充電しても2、3回使うと🔋が点滅する	●電池パックの寿命です。 ➔ 交換してください。	44
充電	子機、ACアダプター、充電台が温かい	●異常ではありません。 （夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります） ➔ 非常に熱いときは、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	–
その他	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	●直らないときは、電池パックを入れ直してください。 （リセット：登録した設定内容などは消えません）	–

こんな表示が出たら

表　示	原因と対応	ページ
使用中	●ドアホン親機や別の子機が使用中です。 ➔ ドアホン親機または別の子機での使用が終わってから、やり直してください。	–
ドアホン接続が設定されていません	●ドアホン接続後、ドアホン側で一度も呼出ボタンを押さないまま、子機の［通話］を押していませんか？ ➔ 一度、ドアホン側で呼出ボタンを押してください。次回からドアホンに接続できるようになります。	–
接続できません カメラ番号（1～4） カメラ1に接続できません	●子機やカメラがドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機やカメラを移動させてください。 ●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ これらの機器から離してご使用ください。	6 7
保護画像です保護を解除してください	●保護画像のため、そのままでは消去できません。 ➔ 保護を解除してから、消去してください。	30
保護画像がいっぱいですこれ以上保護できません	●保護画像がいっぱい（20件）になっています。 ➔ 別の画像の保護を解除してから、保護してください。 ※保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、消去されます。	30
火災警報器が反応しました 外部センサーが反応しました	●火災警報器または外部センサーが反応していませんか？ ➔ 火災警報器または外部センサーを確認してください。 ●火災警報器または外部センサーが反応していない場合は、配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	34
登録失敗	●ドアホン親機への登録が完了していません。 ➔ ドアホン親機に子機を近づけ、登録操作をやり直してください。	16

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このワイヤレスモニター子機の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

45～49ページに従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は、**保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ワイヤレスモニター子機
品　番	VL-W602
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い
- 停電などの外部要因により発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理に関するご相談
ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談
ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時
電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(018)831-7833
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

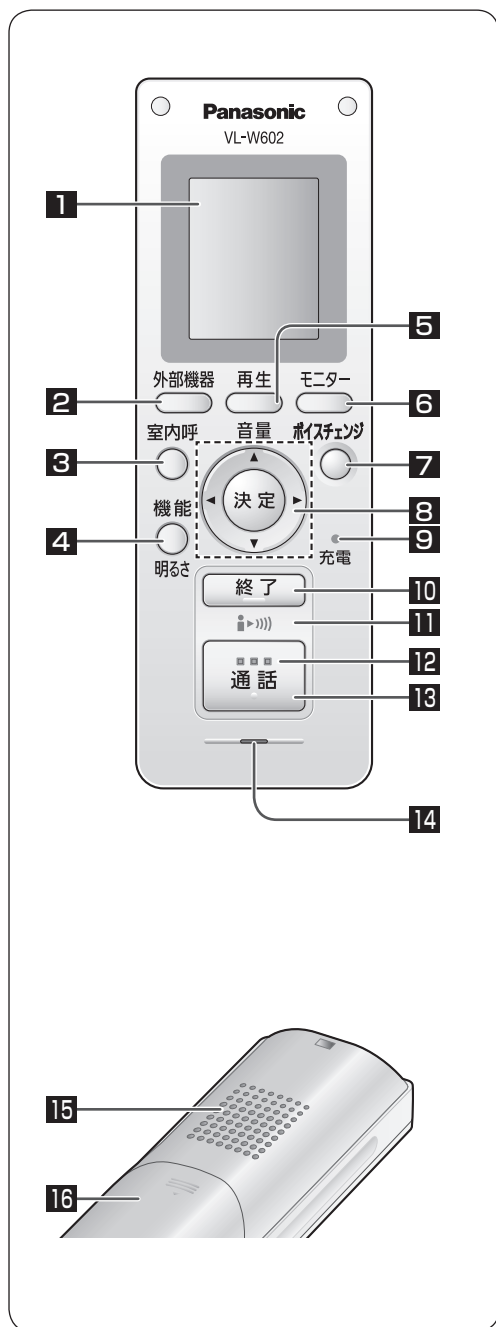
沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0506

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

1 Display

2 External button
(To lock / unlock the door, and etc.)

3 Intercom button

4 Function / Brightness button

5 Playback button

6 Monitor button

7 Voice change button

8 Navigator button

Set button

9 Charge lamp

10 OFF button

11 Talk indicator
(Lights while you are talking)

12 Conversation indicator

13 Talk button

14 Microphone

15 Speaker

16 Battery cover

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

Basic Operations

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press 通話 (13).

■ To monitor outside image

Press モニター (6).

(To talk to the visitor, press 通話.)

● More than one optional camera are connected.

After press モニター, select the doorphone using (8) and press 決定 (8).

■ To monitor a camera image

After press モニター, select the camera using and press 決定.

(To talk to a person near the camera, press 通話.)

■ To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press モニター.

(To talk to a person near the camera, press 通話.)

■ To record the displayed image

Press 決定, while " ◎録画 " is displayed.

■ To play back the recorded image

Press 再生 (5). ➔ Select a desired item using . ➔ Press 決定.

➔ After press 決定, select the image using .

さくいん

A～Z 行

A 接点 ... 42
F ボタン ... 42
Quick Reference Guide ... 52, 53

あ 行

明るさを変える ... 19
アンテナ部 ... 9
液晶ディスプレイ（モニター画面） ... 10
応答する
- ドアホンからの呼び出し ... 18
- カメラからの呼び出し ... 23
- 通話中・モニター中の別の呼び出し ... 33

お客様ご相談センター ... 50
お手入れ ... 43
音声応答 ... 18, 38, 41
音声の聞き直し（ドアホンの音声録音） ... 28
音声の再生／停止（ドアホンの音声録音） ... 28
音量（音の大きさ）を変える ... 36

か 行

外部機器 ... 35
外部センサー ... 34
火災警報器 ... 34
画像
- 再生 ... 27, 28
- 保護／保護解除 ... 30
- 消去 ... 30

画像出力 ... 31
画像全消去 ... 42
壁掛け（充電台） ... 13
カメラ出力音 ... 40
カメラ出力音量 ... 40
カメラ受話音量 ... 40
カメラマイク感度 ... 40
カメラモニター ... 22
聞き直し（ドアホンの音声録音） ... 28
機能設定一覧表 ... 38～42
逆光補正 ... 19
個別呼び出し ... 20, 32, 38
困ったとき ... 45～48
コントラスト ... 39
こんな表示が出たら ... 49

さ 行

再生
- 留守録画 ... 27
- すべての録画 ... 28

室内通話（ドアホン室内通話） ... 32
室内呼 ... 20, 32, 38
充電 ... 12
充電台 ... 9
充電端子 ... 9
充電ランプ ... 9
充電台スタンド ... 9
修理ご相談窓口 ... 50, 51
手動録画（録画・録音） ... 25
受話音量 ... 19, 36
仕様 ... 43
消去（画像） ... 30
上下反転表示 ... 41
人感センサー感度 ... 40
ズーム ... 40
スピーカー ... 9
設置場所 ... 6, 7
設定の初期化 ... 39, 41, 42
センサー種別 ... 40
操作ガイド ... 10, 38
増設（登録） ... 16
送話ランプ ... 9

た 行

中継アンテナ ... 42
通知音（火災警報器など） ... 34
次の画像に進む（画像再生） ... 28
通話ランプ ... 9
電気錠 ... 35
転送 ... 20
電池カバー ... 9
電池残量 ... 10
電池パック（充電） ... 12
電池パック（交換） ... 44
電波状態表示 ... 11
電波について ... 7
添付品 ... 8
ドアホン室内通話 ... 32
ドアホン自動録画 ... 42
ドアホン接続 ... 42

た 行

ドアホンモニター 21
ドアホン録画数 42
登録（増設）... 16

な 行

鳴り分け... 42
日時 41

は 行

廃棄・譲渡・返却のとき（初期化）.......... 39
付属品.. 8
プレストーク通話 19
別売品.. 裏表紙
ボイスチェンジ 19, 39
保護／保護解除 30
保証とアフターサービス.......................... 50

ま 行

マイク.. 9
前の画像に戻る（画像再生）...................... 28
マルチファンクションキー......................... 9
モニター（様子を見る）..................... 21, 22
モニター画面（液晶ディスプレイ）........... 10

や 行

呼出音（種類を変える）............. 37, 38, 41
呼出音量.. 36, 38

ら 行

ランプ表示... 40
リセット（動作がおかしいとき）............. 48
留守設定／解除 26
録画・録音
- 在宅自動録画（録画のみ）.................. 24
- 手動録画（録画・録音）..................... 25
- 留守設定して録画・録音する........... 26

録画開始時間 42
録画日時.. 29
録画日時表示 39
録画番号.. 29
録画枚数振分 42
露出補正.. 41

別売品（ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください）

価格は2006年11月現在のものです。

製　品　名	品　　番	希望小売価格
ワイヤレスモニター子機用電池パック	KX-FAN51	2,310円　（税抜2,200円）

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検　長年ご使用のワイヤレスモニター子機の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- コードやACアダプターが熱を持っている。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、ACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	電話（　　　）　　　ー

本機の製品情報をホームページで見ることができます。　http://panasonic.jp/door/

- BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、本書に記載の会社名･ロゴ･製品名･ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- 本機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー
〒812-8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号

PFQX2619YA　SC0906NT1106